

**令和2年度
若年技能者人材育成支援等事業
実施状況報告（11月30日現在）**

熊本県技能振興コーナー

1 地域における技能振興事業

(1) 技能五輪全国大会予選の実施

項目	内容	
第58回技能五輪全国大会の予選会の実施及び援助 《援助内容》 競技委員への謝金、材料費、施設使用料	開催日時	令和2年4月26日(日) 13:00~15:20
	会場	学校法人常盤学園 シェフパティシエ学院
	予選職種	西洋料理
	参加者	1名 *予選結果により技能五輪全国大会代表選手に推薦

*新型コロナウイルス感染症防止のため西洋料理職種競技は今大会中止となった

(2) 技能五輪全国大会等への参加支援の実施

項目	内容	
技能五輪全国大会及び若者ものづくり競技大会参加支援の実施 ※参考(昨年度)	第15回若年者ものづくり競技大会(開催地:広島県) 【中止】	
	開催予定日	令和2年7月29日(水)~7月30日(木)
	※参加校(昨年度)	(第14回は、熊本県立技術短期大学校、熊本県立北稜高校、熊本県立球磨工業高校、熊本県立高等技術専門学校が参加)
	※参加職種(昨年度)	(第14回は、旋盤、フライス盤、機械製図(CAD)、造園、電気工事、建築大工、自動車整備の計7職種の競技に参加)
	※成績(昨年度)	(銀賞1名/建築大工、銅賞1名/フライス盤、敢闘賞3名/旋盤・建築大工・造園から各1名 <u>入賞者5名</u>)
《援助内容》 選手の旅費・運搬費及びその指導者の旅費	第58回技能五輪全国大会(開催地:愛知県)主会場:愛知県国際展示場	
	開催日	令和2年11月13日(金)~16日(月)
	参加職種(参加者数)	配管3名、建具1名、和裁3名、洋裁1名、フラワー装飾1名、冷凍空調技術1名 計6職種(選手10名、及び指導者7名 総数17名)
成績	敢闘賞1名/フラワー装飾 <u>入賞者1名</u>	

*第59回技能五輪全国大会(東京大会)は令和3年12月17日(金)~20日(月)に開催予定

(3) ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための取組み（イベントの開催）

ア イベント（「くまもと地域ものづくりフェア」）の実施（年2回開催予定）

項目(イベント)	第1回「くまもと地域ものづくりフェア」(南関町) 【中止】	
*技能者の持つ技能を伝えるイベントとして、南関町が実施する「ひまわり教室」の開催に併せ、当コーナーのイベント「くまもと地域ものづくりものフェア」を予定していたが開催中止となった。 ※参考(昨年度) 《援助内容》 技能士等謝金, 旅費、材料費	開催予定日	令和2年8月後半を予定していたが中止
	※場 所	南関町農業就業改善センター
	※内 容	ものづくりマイスター等によるものづくり体験教室及びIT関連の体験教室
	※対象者	小中学生
	※実施予定職種 (参加見込み数)	・ものづくり職種(4 職種) 建築大工、造園、婦人子供服製造、菓子製造(和菓子・洋菓子) ・IT 関係職種(1 職種) ロボットプログラミング 計5 職種 参加見込み数 約200名
*八代市が主催する「こども科学フェア」の開催に併せて依頼を受け、八代高等職業訓練校の協力のもと、ものづくり・IT体験教室を実施する。 《援助内容》 技能士等謝金, 旅費、材料費及び備品借用料 《参加見込数 192名》	「くまもと地域ものづくりフェア」(八代市) ※予定	
	開催日	令和3年1月10日(日) 10時00分~17時00分
	場 所	桜十字ホールやつしろ(やつしろハーモニーホール)(多目的ホール1階、及び屋外特設テント)
	内 容	熟練技能者によるものづくり体験教室(4 職種)及びIT関連の体験教室(1 職種)の計5 職種
	実施方法	3密を避けるため、QRコードから申し込む方法により、完全予約制で実施する
	対象者	小中学生
実施職種	・ものづくり職種 ①建築大工 ②左官 ③塗装・防水 ④板金 ・IT 関係職種 ⑤ロボットプログラミング 計5 職種	

※イベントに係る実施職種数は、IT関係の1職種を含め、5職種程度とされている。

イ イベントの周知・広報について

令和2年度から全国の各コーナーで実施している「地域における技能振興等に係るイベント」の周知・広報業務については、別途、受託業社(株式会社N T Tアド)と実施する。

県内のものづくり体験イベントについて受託会社と行うプロモーションは下記のとおり。

《令和3年1月10日に開催する「くまもと地域ものづくりフェア」のプロモーション》

- ①『技能検定制度等に係るポータルサイト「技のとびら」』にイベント情報を掲載
- ②ものづくり体験イベント用のノベルティの作成（アンケート回答者に配布）
- ③ものづくり体験用リーフレット(チラシ)のデザインテンプレートを作成
※印刷は当コーナーが行い、八代市周辺の小中学校全 39 校へチラシ 2,000 枚を配布するとともに当協会のホームページにも掲載する。
- ④小中学生向けにもものづくり産業への関心を醸成するため技能士カードのデザイン作成

(4) 熟練技能者(ものづくりマイスター以外)の派遣による実技指導 *11月末現在

- ①実施日数 17日(昨年度33日)
- ②受講者数 延べ146人日(昨年度738人日)

区分	派遣先	職種	回数	受講者数
高校 5校	北稜高校 菊池農業高校 芦北高校 南稜高校 鹿本農業高校(新規)	フラワー装飾	17(15)	146人日(738)

*後期は熊本工業高校で1月に3日間(延べ24人日)の実技の申込みがっている。

(5) 熟練技能者(ものづくりマイスター以外)の派遣によるIT体験教室

・IT情報技術に慣れ親しみ、興味を喚起することを目的としている。

- ①実施日数 1日(昨年度実績なし)
- ②受講者数 延べ21人日(対象:小学5・6年)
- ③派遣先 熊本市立芳野小学校
- ④講師 森川 治雄 氏(ロボファーム代表)
- ⑤実施内容 タブレット内のアプリ(マイクロビット)を用いて、プログラミングを行いマイコンカーを動かす。応用編として「超音波センサーを使った自動ブレーキ」のプログラムも実施。実際に自動車で応用されている衝突被害軽減ブレーキの原理を学ぶ。

(6) 「地域発! いいもの」応援事業

地域で行われているものづくり産業振興、技能者育成等に資する特色ある取組や制度を発掘し、「地域発! いいもの」として選定し、広く国民に周知し、地域における技能振興や技能尊重の機運を高め、更に地域の活性化を図ることを目的として募集を行っている。

● 「地域発！いいもの」 応援事業に係るコーナーの業務

①募集に係る周知

②応募書類の受付・確認

③中央技能振興センター（以下「センター」という。）への応募書類の送付、センターから送られる応募者への結果通知など

【令和2年度応募期限：令和2年11月6日（金）】

*昨年度、県内からは山鹿灯籠協会の「山鹿灯籠の技術・技法の継承、後継者の育成」の取組みが評価され選定された。

《実施内容》

ア 令和2年度「地域発！いいもの」募集に係る案内及びリーフレットの送付

*周知を図るため、これまで県内で選定された取組みを紹介するとともに、年1回から年2回に郵送による案内を増やした。 別添【関連資料①】

【1回目】

①送付先：市町村、業界団体、技能士団体、工業系高校、製造業系企業

②件数：733件

③送付日：令和2年7月14日

【2回目】

①送付先：市町村、業界団体、技能士団体、工業系高校、製造業系企業

②件数：726件

③送付日：令和2年9月28日

イ さらに、応募の促進を図るため、令和2年度「地域発！いいもの」応援 募集要項をホームページに掲載するとともに、ポータルサイト「技のとびら」で、詳しい応募方法や申請書類のダウンロードができるよう案内を行った。

ウ 応募状況

①応募件数：1件（申請中）

②申請団体：熊本県立球磨工業高等学校（校長 原田 茂 氏）

③取組名称：「伝統建築専攻科 伝統建築の技を受け継ぐ人材を育てる」

④取組概要：高校建築科卒業後の2年課程で、日本古来の伝統的木造建築に関する技術について学び、社寺建築や文化財建造物等に携わる宮大工になろうとする人材を育成する。地元の依頼を中心に、祠・堂・神輿といった建造物の新築や修復を通して技術の習得を図るばかりでなく、職人としての生き方を考える場として指導をしている。

*選定結果については令和3年2月初旬に通知される予定

(7) グッドスキルマーク事業

特級技能士、一級技能士又は単一等級の技能士（以下「一級技能士等」という。）が技能を駆使した製品等の提供に表示するロゴマーク（以下「グッドスキルマーク」という。）を表示することにより、直接、消費者に対して、一級技能士等が技能を駆使した製品等として、技能が活かした付加価値の高い製品等であることを広く周知することを目的に活動している。

●「グッドスキルマーク事業」に係るコーナーの業務 別添【関連資料②】

- ①グッドスキルマークの募集に係る周知活動
- ②応募書類の受付・確認
- ③センターへ応募書類の送付、応募者等への結果通知など

【令和2年度応募期限：令和2年12月4日（金）】



《実施内容》

ア グッドスキルマークの表示を希望する製品等の募集に係るリーフレット等の送付

* 周知を図るため、これまでの案内回数を年1回から年2回に増やし、本年度は、送付先に令和元年度検定1級合格者の所属事業所を加えて案内を行った。

【1回目】

- ①送付先：協会会員、関連業界団体、技能士団体、令和元年度1級合格者の所属事業所
- ②件数：309件
- ③送付日：令和2年8月21日

【2回目】

- ①送付先：同上
- ②送付物：周知効果を高めるため送付物はリーフレットの他、グッドスキルマーク表示に係るガイドラインを記した資料を追加して案内を行った。
- ③件数：309件
- ④送付日：令和2年10月9日

イ 応募状況 ①応募件数：3件、1級技能士12名、特級技能士1名（12月5日現在）

②職種及び製品

- ・菓子製造1件 株式会社お菓子の香梅 和菓子全般（生菓子・半生菓子・干菓子）
- ・パン製造1件 合名会社パン物語（天然酵母を使用した無添加のパン及び菓子製品）
- ・建築大工1件 株式会社一口建設（伝統建築の技を駆使した日本家屋住宅、現代の生活様式に合わせ施工したモデルルーム（木造）・一般住宅）

* 審査結果は、令和3年3月下旬頃に通知される予定

(8) 卓越した技能者(現代の名工)の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援

社会一般に技能尊重の気風を浸透させ、青少年がその適正に応じ、誇りと希望を持って技能労働者となることを促進するため、卓越した技能者(現代の名工)の表彰の被表彰者を紹介するWEBコンテンツ(以下、「被表彰者紹介コンテンツ」という)の作成支援を行う。

《実施内容》

ア 県内における令和元年度卓越技能者(現代の名工)被表彰者(3名)

- ・品川 正三 氏(和服仕立職) 有限会社品川和裁
- ・川上 洋信 氏(中華料理調理人) 株式会社熊本ホテルキャッスル
- ・隈本 妙子 氏(フラワー装飾師) くまもとたえこフラワーデザイン教室

イ 被表彰者紹介コンテンツ作成に係る取材内容

- ①名工のプロフィール(この仕事についたきっかけなど)
- ②仕事に対する思い(やりがいや苦勞したこと)
- ③名工からのメッセージ(これから働く方へ、この仕事を目指す方に)
- ④この技能を学ぶために役立つ訓練機関など
- ⑤写真(作品及び作業風景)

ウ 取材方法

10月下旬から11月中旬にかけ、コンテンツ作成方針に従い、3密を避け、マスク着用の上、対面方式で取材を行った。コンテンツ案を受賞者に確認してもらい、令和2年11月24日に中央技能振興センターへ提出した。

エ 受賞者の取材内容詳細

別添【関連資料③】

2 ものづくりマイスター、ITマスター及びテックマイスター(「ものづくりマイスター等」という)の認定、登録に関する事業

《実施状況》

(1) ものづくりマイスター等の開拓 別添【関連資料④】(募集案内)

ものづくりマイスターの不足・不在の職種を勘案しながら、1級技能士の所属する企業・業界団体等へ訪問し、本制度の趣旨やものづくりマイスター等役割の重要性を理解してもらい、意欲をもって活動する意思のある候補者の発掘に努めている。

また、ITマスターの募集については、県内のIT関連学科のある専門学校、大学、民間の情報処理専門学校等を訪問し、制度内容・マイスター認定基準の説明を行う等、候補者の情報収集、発掘に努めている。

(2) ものづくりマイスター等の認定・登録(令和2年度)

ア ものづくりマイスターの認定・登録

- ①【目標認定者数5名】 *12月現在 延べ4人 実人員4人を認定・登録
(内訳) 建築板金(株式会社オカザキ: 福嶋和弘氏、岡崎良治氏)
菓子製造(合名会社松尾商店パティスリービジュール: 松尾康行氏)
配管(元ポリテクセンター: 藤本英二氏)

- ②平成25年の事業開始からの登録者総数は、延べ203名(47職種)実人員150名となった。

(ものづくりマイスター登録者内訳)

認定職種	人数	認定職種	人数	認定職種	人数
造園	8	タイル張り	1	放電加工	2
菓子製造	4	金属プレス加工	1	型枠施工	5
機械加工	24	金型製作	4	仕上げ	5
電気機器組立て	1	電子機器組立て	5	半導体製品製造	1
家具製作	2	建具製作	3	内装仕上げ施工	2
建築大工	17	鉄筋施工	2	機械保全	11
機械検査	4	塗装	19	鉄工	1
電気溶接	1	和裁	1	畳製作	3
樹脂接着剤注入施工	15	防水施工	14	かわらぶき	6
配管	6	プラスチック成形	2	陶磁器製造	1
パン製造	2	表装	2	とび	2
テクニカルイラストレーション	1	婦人子供服製造	2	農業機械整備	1
左官	2	電工	1	ブロック建築	1
みそ製造	4	建設機械整備	1	冷凍空調和機器施工	4
機械・プラント製図	1	金属熱処理	2	空気圧装置組立て	1
石材施工	3	建築板金	2	職種数 47 延べ203名	

イ IT マスターの認定・登録 (令和2年度)

①令和2年度目標認定者数1名

*11月末現在、延べ1人(2職種)、実人員1人を認定・登録

被認定者 村嶋亮一氏(株式会社ヴィネット代表)

(職種:ITネットワークシステム管理、業務用ITソフトウェア・ソリューションズ)

②平成29年度からの認定者数は、延べ10名(2職種)実人員8名となった。

(ITマスター認定者内訳)

業務用ITソフトウェア・ソリューションズ(7名)、ITネットワークシステム管理(3名)

ウ テックマイスターの認定・登録 (令和2年度)

①認定者数:1人

被認定者 大曲 正延 氏(大曲技術士事務所)

*平成30年度から新設され、認定者数の目標は設定されていない。

(3)ものづくりマイスター等に対する説明・研修

ア 第1回「ものづくりマイスターに対する指導技法等講習」の開催(コーナー主催)

①開催日時:令和2年8月26日(水) 13時00分~17時00分

- ② 会 場：メルパルク熊本 4階（松の間）
- ③ 対 象 者：新たにものづくりマイスターの認定を受けた方
- ④ 受講者数：2名（建築板金職種）
- ⑤ 講 師：濱崎 俊博 氏（元東海大学講師）
- ⑥ 内 容 ・ 指導法について
 - ・ 実技指導の進め方
 - ・ 個人情報の保護、セクハラ・パワハラの防止について

イ 第1回「ITマスターに対する指導技法等講習」の実施（コーナー主催）

- ① 開催日時：令和2年11月11日（水）13時00分～16時00分
- ② 会 場：メルパルク熊本 4階（松の間）
- ③ 対 象 者：新たにITマスターの認定を受けた方
- ④ 受講者数：2名（ITネットワークシステム管理、業務用ITソフトウェア・ソリューションズ）
- ⑤ 講 師：川本 正道 氏
- ⑥ 内 容 ・ 指導者の役割と指導における望ましい態度
 - ・ ITマスター講義用教材に沿って指導内容を説明
 - ・ 個人情報の保護、セクハラ・パワハラの防止について

ウ 「ものづくりマイスター等に対する指導技法等講習の講師向け講習会」（センター主催）

ものづくりマイスター等（ITマスターを含む）として、企業・学校等で実技指導を行っている方を対象に例年11月頃、開催されている。（内容については以下のとおり）

本年度については、新型コロナウイルス感染症防止対応のため、出席の可否についてアンケートが実施されたが、当コーナーとしては、慎重に検討した結果、会場が東京都であること、ものづくりマイスター等に高齢の方が多く、また当時新型コロナウイルス感染状況（県外をまたぐ旅行の自粛）等により、ものづくりマイスターの派遣を見送ることとした。

（講義内容） 指導技法について伝達講義

- ・ 主題（指導者の役割と望ましい態度や講義・実技指導の進め方について
- ・ ものづくりマイスター、ITマスター等講義ガイド映像教材視聴、講義ガイドの概要、演習法、講義時の特有な問題等への対処法 等

エ 「ものづくりマイスター職種別事例発表・意見交換会」（センター主催）

例年12月に、ものづくりマイスターとして、企業・学校等で実技指導をされている方を対象に参加者による意見交換会が開催されている。本年度についても、センターから案内（10月）があったが、会場が東京、大阪であること、対象者に高齢が多いこと等、新型コロナウイルス感染症防止を考慮し、ものづくりマイスターの派遣を見送ることとした。

3 ものづくりマイスター等活用事業

(1) 若年技能者の人材育成に係る相談・援助

ア 窓口を設置し、企業・団体・学校等からの相談に応じ、ものづくりマイスター等の派遣に係るコーディネートを行っている。

【主な相談内容】

- ①実技指導、ものづくり体験教室の申込みの方法について ②実施時期について
③受講者数（一人でも可能か）について ④受講日の変更（講習期間の短縮、延長を含む）

イ ものづくりマイスターの選定

企業や高校等の要請に応じて、効果的な指導を行なうため、依頼された担当者と綿密に打合せを行い指導内容に合致したマイスター等の選定に努めている。また、講習日毎に、その都度ものづくりマイスター等からの活動記録簿を提出してもらい、的確な指導内容や進捗状況の確認を行っている。

(2) ものづくりマイスター制度の周知活動

県内の小中学校・高校に対し、教育現場の技能に対する関心を喚起するとともに、技能の重要性・必要性について理解を深めてもらうために、ものづくりマイスター等の派遣による「目指せマイスター」プロジェクトに関する案内とともに活用のメリット等について、担当教諭等に対し活用事例等を交え、詳しく説明をしていくことで活用に繋がっている。また県内の中小企業に対しては、ものづくりマイスター制度の活用ニーズを探るために「技能者の人材育成に関するアンケート調査」の実施と「ものづくりマイスター等事業のご案内」（リーフレット）を送付し、また活用促進を図るために回答のあった企業に対しては、詳細な制度の案内、「ものづくりマイスター活用好事例集」等の配布、さらには直接、訪問して制度活用のメリットを説明する等、活用促進に向けた周知活動を行っている。

《実施状況》

ア 小中学校・高校に対し、ものづくりマイスター制度及び「ものづくり体験教室」に係るリーフレットを送付

- ①発送日：令和2年4月23日（小学校339校、中学校159校、高校26校）
②発送件数：524件

イ 中小企業（製造業・建設業）に対するアンケート調査 別添【補足資料①】（アンケート）

- ①発送日：令和2年4月16日
②発送件数：1,395件
③結果：下記の項目で回答の多かったもの

問1 技能者の育成への取組みとして関心があるもの

- ・ものづくり産業における技能伝承や技能者の育成に関心がある
- ・生産性、品質向上に向けたIT化への取組みに関心がある

問2 技能者の育成・能力開発について、現在行っている取組みについて

- ・ 日常業務の中で上司や先輩が指導している
- ・ 仕事の内容を吟味して、やさしい仕事から難しい仕事へと経験させる

問3 技能者に対する支援等について

- ・ 生産性向上、品質向上、人材育成の方法の指導、労働安全衛生法を含む労働環境の改善に向けた助言等について関心がある
- ・ 教育訓練計画の立て方、教育訓練方法（作業手順書の作成方法、指導の方法、教え方）について知りたい

(3) 「ものづくりマイスター」の派遣による実技指導等 **別添【補足資料②～⑤】**

【活動目標（年間）：4,600人日】

(内 訳) 実技指導4,000人日、「ものづくりの魅力」講座600人日)

*令和2年11月末までの実績 2,186人日 昨年度対比△33% (去年同期 3,264人日)

ア 実技指導

* () 内は令和元年度の11月末日の実績

内 訳 対象区分	実施日数(延べ)	マイスター派遣数 (延べ)	受講者数(延べ)
中小企業・団体	90人日 (107人日)	90日 (132人日)	297人日 (778人日)
職業高等学校等 (高校以上)	179人日 (227人日)	198人日 (254人日)	1,767人日 (2,096人日)
合 計	269人日 (334人日)	288人日 (386人日)	2,064人日 (2,874人日)

イ 「ものづくりの魅力」講座（ものづくり体験教室） 【補足資料④⑤】

【活動目標：受講者600人日以上】*対象者～小中学校の生徒・教師及び保護者

《令和2年11月末までの実績》 * () 内は令和元年11月末日の実績

①実施件数 6回 (7回) ※年間目標は14回

②受講者数 122人日 (390人日)

③ものづくりマイスター派遣数 延べ9人日 (延べ19人日)

④実施職種：建築大工、菓子製造(和菓子・洋菓子)、造園、陶磁器製造(絵付け)、電子機器組立、みそ製造

(4) 「ITマスター」の派遣による講習等 *平成29年度から実施【補足資料⑤】

《実施状況》

ア「ITの魅力」講座(講話及び体験教室)

【目標：85人日以上】

《令和2年11月末までの実績》 * ()内は令和元年11月末日の実績

*対象者～小中学生

- ①実施件数 0回 (3回)
- ②受講者数 0人日 (83人日)
- ③ITマスター派遣数 延べ 0人日(3日)

*実施予定

- ①場 所：芦北町立佐敷中学校
- ②実施日：令和3年2月1日、2月5日
- ③受講者数：65人日
- ④IT マスター派遣数 延べ2名
- ⑤内 容：情報技術を便利に使うための方法と安全安心に使うためのサイバーセキュリティについて学ぶ。

(5) ものづくりマイスター等の実技指導、ものづくり体験教室等に関するアンケートの実施

【集計結果】 *令和2年11月末日現在

●「実技指導に対するアンケート」 別添【補足資料⑥-1】

ア 企業・業界団体の担当者の回答 (回答数 9件)

問：全体を通して、今回の実技指導の成果はありましたか

- | | | |
|-------------|----|-----|
| ①大変良い成果があった | 8件 | 89% |
| ②ある程度成果があった | 0件 | 0% |
| ③あまり成果がなかった | 1件 | 11% |
| ④全く成果がなかった | 0件 | 0% |

(成果目標：満足度が①・②、の選択肢を合せた合計が90%以上であること)

イ 教育訓練機関担当者の回答 (回答数 15件)

問：全体を通して、今回の実技指導の成果はありましたか

- | | | |
|-------------|-----|-----|
| ①大変良い成果があった | 14件 | 93% |
| ②ある程度成果があった | 1件 | 7% |
| ③あまり成果がなかった | 0件 | 0% |
| ④全く成果がなかった | 0件 | 0% |

(成果目標：満足度が①・②、の選択肢を合せた合計が90%以上であること)

ウ 受講者(企業)の回答 (回答数 28件) 別添【補足資料⑥-2】

問：今回の実技指導は役に立ちましたか

- | | | |
|------------------------|-----|-----|
| ①今後に生かすことが出来る(役に立った) | 27件 | 96% |
| ②今後に生かせると思う(ある程度役に立った) | 1件 | 4% |
| ③生かせると思わない(役に立たなかった) | 0件 | 0% |

(成果目標：満足度が①・②、の選択肢を合せた合計が90%以上であること)

エ 受講者(学校生徒)の回答(回答数 150件)

問：今回の実技指導は役に立ちましたか

① 今後に生かすことが出来る(役に立った)	106件	71%
② 今後に生かせると思う(ある程度役に立った)	44件	29%
③ 生かせると思わない(役に立たなかった)	0件	0%

(成果目標：満足度が①・②、の選択肢を合せた合計が90%以上であること)

● 「ものづくり体験教室」に関するアンケートの実施

別添【補足資料⑥-3】

* 学校教師の回答(21件)

問：ものづくりの魅力、ものづくりの意義が伝わったか

① 良く伝わったと思う	17名	81%
② ある程度伝わったと思う	4名	19%

(成果目標：満足度が①・②、の選択肢を合せた合計が90%以上であること)

(6) IT体験教室に関するアンケートの実施

別添【補足資料⑥-3】

* 学校教師の回答(4件)

問：児童生徒に、講義等によりITの魅力、ITの意義が伝わったか

① 良く伝わったと思う	4件	100%
② ある程度伝わったと思う	0件	0%

(成果目標：満足度が①・②、の選択肢を合せた合計が90%以上であること)

(7) 実技指導および体験教室に対するご意見・ご要望(抜粋) 別添【補足資料⑦】

4 連携会議の開催 *年2回開催

《実施状況》

● 地方公共団体や経済団体等との連携会議の開催(コーナー主催)

【第1回連携会議】

新型コロナウイルス感染症防止のため、参集方式から書類またはメール送付による開催とした。

- 1) 開催日：令和2年5月15日(金)
- 2) 出席者数：14名(連携会議委員)
- 3) 事務局：熊本県地域技能振興コーナー
- 4) 議題：①平成元年度若年技能者人材育成支援等事業実施結果について
②令和2年度若年技能者人材育成支援等事業実施計画について

【第2回連携会議】

- 1) 開催日時：令和2年12月17日（木）15:30～17:00
- 2) 会 場：ホテルメルパルク熊本（2階 金峰）
- 3) 出席者数：11名（熊本労働局、熊本県労働雇用創生課 他）
- 4) 議 題：①令和2年度若年技能者人材育成支援等事業実施状況(11月末まで)について
②指導現場からの報告（ものづくりマイスター 濱崎俊博氏）
③その他（質疑応答、連絡事項等）

5 全国斉一的な展開

《実施状況》

●全国会議等の開催（センター主催）によるセンター、コーナー間の連携の強化等

【全国会議】 令和2年度「若年技能者人材育成支援等事業」に係る全国会議

※新型コロナウイルス感染症対応のため、令和2年4月22日開催予定の全国会議は中止となり、郵送による資料(全国の実施状況報告)が提供された。

- 1) 資料内容：①令和2年度事業実施にあたっての留意点等について
②四半期報告についての留意点等について
③中央技能振興センター及び地域技能振興コーナー業務について
・業務の改正内容
④質疑応答

【ブロック会議】 令和2年度「九州・沖縄ブロック技能振興コーナー職員会議」

新型コロナウイルス感染症防止対応により、参集方式から書類送付による全国同時開催となった。

- 1) 開催日：令和2年10月21日(水)
- 2) 出席者：都道府県地域技能振興コーナー職員
- 3) 事務局：中央技能振興センター
- 4) 議 題：①令和2年度事業(第2四半期まで)の事業進捗状況等について
・ものづくりマイスター等の実績について
・中央技能振興センターにおける事業実施状況等
②令和2年度事業における技能振興コーナー活動について
・新型コロナウイルス感染症状況を踏まえた、ものづくりマイスター等事業の実施状況等
・ものづくりマイスター等の実技指導で、オンラインでの対応を取り入れている場合の具体例について